

TACメソッド解説講義
[2回]

事例問題を解くためのスキルのベースとなる「TACメソッド」を伝授します。
事例問題に共通するメソッドのほか、各事例に対応するためのメソッドなどを習得します。

ここがPOINT

「TACメソッド」の概要はP3、4をご覧ください。

→INPUT←

2次スキルアップ演習
[4回（各事例1回）]

これまで学習してきた、TACメソッドと各事例の知識を「知識の確認(10分)→演習(60分)→解説(70分)」という演習形式の流れで得られます。

←OUTPUT→

2次実力養成演習
[4回（各事例1回）]

これまで学習してきた、TACメソッドと各事例の知識を、オーソドックスな出題内容を通じて、本試験と同様の80分の事例演習で確認していきます。演習後、60分の解説講義を行い、答案は添削して返却します。

80分

←OUTPUT→

2次実力チェック模試
[1日]

本試験と同様の形式で実施する模擬試験です。これまでの対策の成果を確認します。ここで弱点を明らかにして、軌道修正を行い、2次実力完成編に備えます。

※2015年5月2日を予定しています。2015年合格目標2次演習本科生をお申込みの方は、2次実力チェック模試の受験料がコース受講料に含まれております。

80分

←OUTPUT→

2次直前演習

①～④ [4回（各事例1回）]

これまでに培ってきたスキルを発揮して、本試験レベルの実践的な事例演習(80分)にチャレンジします。演習後、60分の解説講義を行い、答案は添削して返却します。

80分

←OUTPUT→

80分

こだわりの80分演習&模試

本試験と同様の80分間の演習・模試を実施します。
[2次実力養成演習]以外は、本試験に合わせた難易度に設定しています。

2次公開模試
[1日]

本試験と同様の形式で実施する模擬試験です。全国最大級の受験者数を誇り、ご自身の実力や位置を正確に測ることができます。

※2015年9月6日を予定しています。2015年合格目標2次演習本科生をお申込みの方は、2次公開模試の受験料がコース受講料に含まれております。

80分

←OUTPUT→

2次直前演習

⑤～⑫ [8回（各事例2回）]

本試験直前の最後の追い込みとして、80分の実践的な事例演習を行います。演習後、60分の解説講義を行い、答案は添削して返却します。

80分

←OUTPUT→

2次試験対策にさらに磨きをかける！

2次事例Ⅳ特訓
[6回]（※自己採点）

本コースの目的は、典型的な問題を繰り返し処理することで、基本的な計算処理手順の定着を図ることです。さらに、類似した複数の問題を処理することで、共通的な要素を抽出し、問題対応力を強化します。各回、講義(30分)→演習(60分)→解答解説(50分)の順で実施します。

→INPUT←
←OUTPUT→こんなに
オススメ

事例Ⅳに力を入れたい方、
事例Ⅳの問題を数多く解きたい方

オプション

2次実力完成演習 [12回（各事例3回）] & 2次実践スキル確認講義 [2回]

「2次実力完成演習」では、事例Ⅰ～Ⅳの事例演習を本試験と同様の80分で解答する実戦形式で3回、計12回行います。もちろん、答案は添削して返却します。豊富な演習量とバリエーションに富んだ出題内容を通じて、これまで学習してきた、TACメソッド、過去問、2次試験に必要な知識をマスターし、事例スキルを完成させます。

「2次実践スキル確認講義」では、2次実力完成演習12回の体験をより効果的なものにするため、事例問題の処理プロセスの確認・補強を行います。

(2次本科生の方はカリキュラムに含まれていますので、別途申込み必要はございません。)

→INPUT←
←OUTPUT→こんなに
オススメ

事例問題を多く解きたい方、
事例スキルに磨きをかけたい方。

ここがPOINT

TACの演習問題は、全て新作のTACオリジナルです。

ここがPOINT

受験者数全国最大級の模試



TACの公開模試は受験者数全国最大級。そのレベル・規模・フォローなどの全てにおいて自信を持ってお勧めできます。多くの受験者に支持され、2013年度のTAC 2次公開模試受験者は、2,889人にもなりました。